

## 第36回風に関するシンポジウムのお知らせ

**共 催：**地震学会，土木学会，日本海洋学会，日本気象学会，日本建築学会，日本航空宇宙学会，日本地理学会（幹事学会），日本農業気象学会，日本林学会，日本流体力学会，日本風工学会

**日 時：**1989年12月6日（水）9時50分～17時30分

**会 場：**筑波大学大学会館特別会議室

**懇 親 会：**講演終了後，大学会館にて開催を予定しています。

**会場案内：**J R常磐線荒川沖駅下車，筑波大学中央行きバス，大学会館下車，または常磐高速バス（J R東京駅八重洲口発）つくばセンター下車，筑波大学中央行きバス，大学会館前下車

**問い合わせ先：**筑波大学地球科学系，甲斐憲次（世話人）  
〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL 0298-53-6704 FAX 0298-53-4012

### プログラム

#### A. 一般講演

セッション 1：自然風の特徴 9：50～12：10

- (1) 津軽地方における地吹雪の観測  
真木雅之・中井専人・八木鶴平・中村秀臣（国立防災科学技術センター）
- (2) 中部日本の地上の気流パターンと昼夜の加熱・冷却との関係  
鈴木力英（筑波大学）
- (3) 大規模海風はなぜ厚いか  
近藤裕昭（公害資源研究所）
- (4) 海風重力流の構造とその時間変化  
余偉明（筑波大学）・植田洋匡（国立公害研究所）・河村 武（筑波大学）

<コーヒーブレイク>

- (5) 日本各地における風向別強風の予測  
松本 勝・白石成人・三澤 彰・村上琢哉（京都大学）
- (6) つくば山周辺気流の解析 (2)  
北林興二・近藤裕昭・吉門 洋（公害資源研究所）
- (7) 空中写真を用いた建物を越える風の流れの測定

青木俊道・小泉俊雄・羽倉弘人（千葉工業大学）

セッション 2：境界層と乱流 13：00～14：20

- (8) 大規模乱流中での粒子拡散に関する風洞実験  
蒔田秀治・茂山正明・佐々浩司・小杉 淳（豊橋技術科学大学）
- (9) 安定温度成層流中の乱流の構造に関する実験  
蒔田秀治・森 重樹・土井隆明・新美増信（豊橋技術科学大学）
- (10) 円管中を流れる空気の流れの速度分布の測定  
中川武夫・赤羽俊彦・池田賢治（金沢工業大学）
- (11) 複雑地形上における乱流構造——風洞実験と野外観測との比較——  
加藤真規子（気象研究所）

<コーヒーブレイク>

セッション 3：風観測システムとその応用

14：30～15：50

- (12) ドップラーレーダーによる風の測定とその応用  
鈴木 修（気象研究所）
- (13) 大気風測定用コヒーレントドップラーライダー  
柴田 隆・石津美津雄・板部敏和（通信総合研究所）
- (14) ウィンドプロファイラーレーダーによる上空風の観測  
永井智広・上田真也（気象研究所）
- (15) 気象衛星「ひまわり」の画像による風の観測  
内田裕之（気象衛星センター）

<コーヒーブレイク>

セッション 4：風による物質の輸送と拡散

16：00～17：00

- (16) スギ花粉の飛散シミュレーション  
川島茂人（農業環境技術研究所）
- (17) 黄砂の長距離輸送——中国大陸での観測（HEIFE）に向けて——  
甲斐憲次（筑波大学）
- (18) 地球をめぐる物質の流れ  
二階堂義信（気象研究所）

B. 記念講演 17：00～17：30

『風の世界』 吉野正敏（筑波大学）